

第6回日本がんサポーターブケア学会学術集会報告

松浦 一生

2021年5月29日(土)～6月30日(水)に、大崎昭彦先生が会長を務め、第6回日本がんサポーターブケア学会学術集会がWEB開催されました。さらに5月29・30日は、一部のプログラムをライブ配信するために、埼玉医科大学国際医療センター教育研究棟2Fにメイン会場・サブ会場を設けて大画面配信を行い、現地参加もできるハイブリッド開催の先駆けになりました。第5回学術集会(会長;高橋孝郎先生)が急遽WEB開催となり、本会の開催も危ぶまれましたが、大崎先生が早々にWEB開催を決定されたので、大きな混乱もなく、盛会のうちに終了いたしました。

本学会では、「がん支持医療の温故知新」をテーマに、がん医療のサポーターブケアを行うあらゆる職種からの発表・討論が行われました。コロナ禍という困難な状況をWEB開催という新しい手法を用いて、私たち乳腺腫瘍科医員も微力ながら実行委員として参加できたことは今後の大きな経験となりました。学会開催中に撮影された写真の中から厳選した写真を披露させていただきます。ご参加いただきました皆さま、ならびにご協力いただきました関係者の皆さまに、この場をお借りして感謝申し上げます。



